



## 貿易手続デジタル化に向けた取組の紹介

オリンパス株式会社

サプライチェーンマネジメント 日本地区統括 2023年12月14日

# 会社概要

商号	オリンパス株式会社 (Olympus Corporation)
上場市場	東京証券取引所プライム市場 (証券コード: 7733)
設立	1919年10月12日
取締役 代表執行役社長兼CEO	シュテファン カウフマン
本社	〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モリス
資本金	1,246億円 (2023年3月現在)
連結売上高	8,819億円 (2023年3月期)
連結従業員数	32,805人 (2023年3月現在 非継続事業4,124人含む)



# True to Life

“世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のために私たちは今後も邁進します。”



内視鏡用処置具



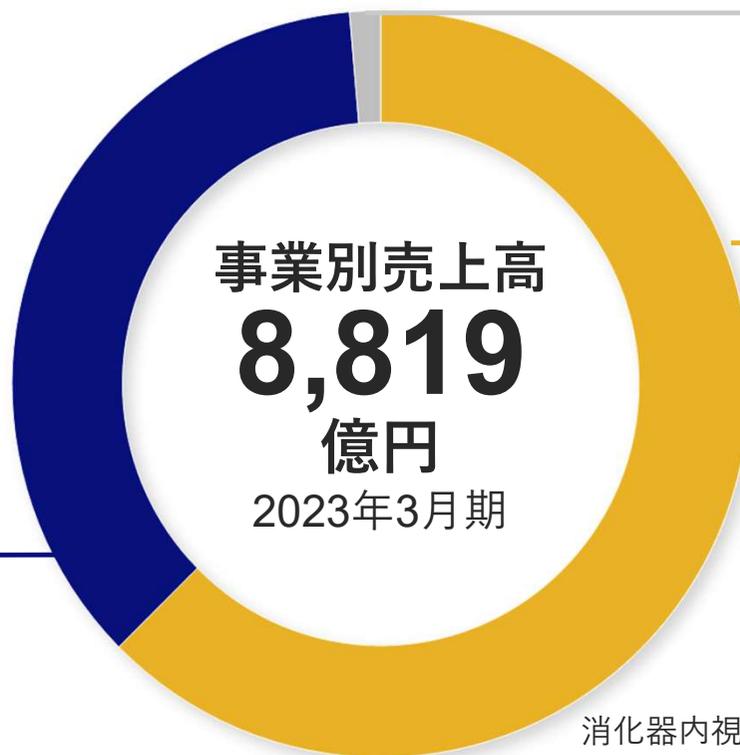
エネルギーデバイス



硬性鏡  
(光学視管)

**3,182** 億円 36.1%

治療機器事業



**119** 億円 1.3%

その他

**5,518** 億円 62.6%

内視鏡事業



消化器内視鏡ビデオスコープシステム



4K外科内視鏡システム



内視鏡  
自動洗浄  
消毒装置

## 基本情報



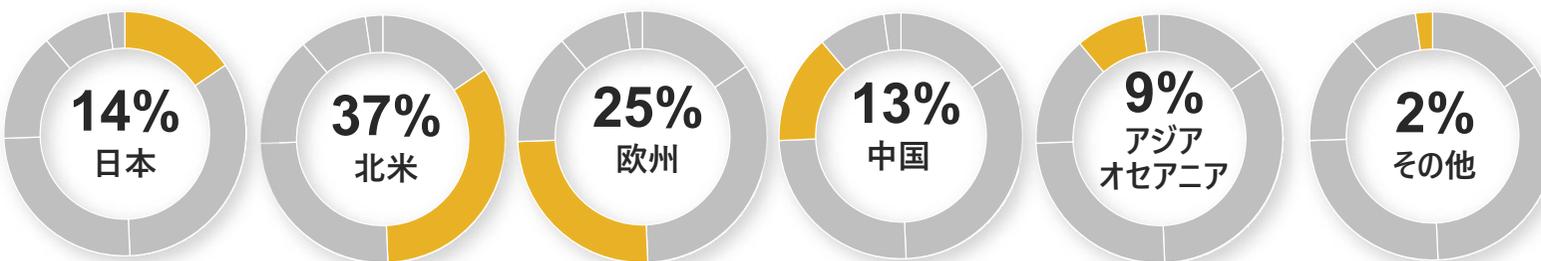
# 32,805

全従業員数\*

# 38

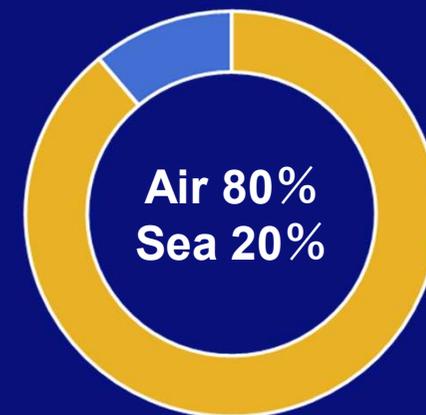
拠点のある国や地域\*

## 地域別売上高



\*2023年3月現在 全従業員情報には非継続事業4,124人を含む

## 製品群による輸送モード使い分け



## 海外現地法人向け直接貿易が主流



# E2E サプライチェーントランスフォーメーション：分断から統合、マニュアルからデジタルへ



100以上の  
関係会社



40以上の  
工場と修理拠点

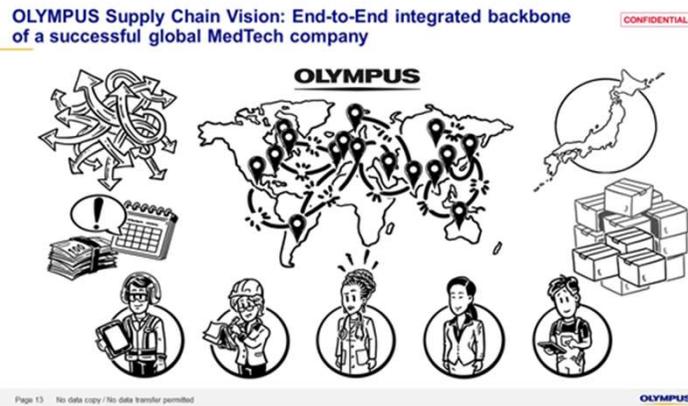


25以上の  
ロジスティクスセンター



40以上の  
ERPシステム

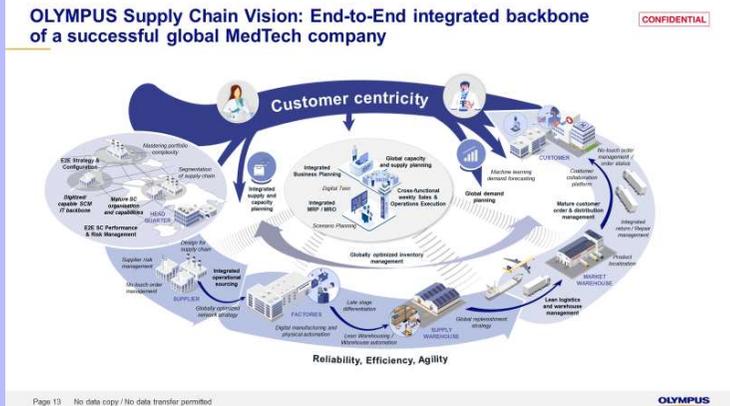
~2020年



...一貫性がなく、属人的で手作業中心のサプライチェーン

- トランザクション型SC – 低いビジネスパートナーとしての成熟度
- 地域間の一貫性がなく、システムを活用できていないデータやプロセス
- グローバルで透明性を持たない各地域独自のプランニング、シミュレーションと意思決定への限定的な貢献
- 各地域独自で管理される輸配送・注文管理、手作業による情報の紐づけ

2026年



...E2Eで一貫性があり、デジタル化されたサプライチェーン

- 主導的な指揮者、実行を可能にするリスクマネージャーとしてのサプライチェーン
- E2Eで透明性が高く、統合されたシステムと顧客重視のプロセス
- 先進的なプランニング・ソリューションによる、統合されたプランニング、シミュレーション、意思決定
- 例外対応や、付加価値業務に焦点を当てた、グローバルで統合されたタッチレス・ディストリビューション

# サプライチェーン トランスフォーメーション プログラム

## ビジネス・プロセス連携

- SCMの各分野における現状のプロセスを把握
- グローバルで共通の、あるべきプロセスを定義、整合
- ツールの導入に連動した、新しいプロセスへの変更
- プランニング、物流・ロジスティクス機能への注力

## ビジネス・プロセス確立

- SCビジネスプロセス管理の設定
- プロセスの役割の定義、割り当て
- プロセス会議への貢献
- プロセス主導型組織への転換

## サステナビリティ

- 事業継続計画
- SCM領域のリスク評価
- 環境・社会・ガバナンス (ESG) ロードマップの策定
- ESGとリスク管理を強化するプロジェクトの主導

## ディストリビューション

- ロジスティクスと倉庫配送の機能標準 (プロセスマッピングを含む)
- 物流の改善
- 貿易業務の効率化
- ネットワークの最適化とモデリング
- 機能的パフォーマンス管理



## グローバルプランニングと透明性のあるツールの導入

- クラウドベースのO9ソリューションの導入
- グローバル需給計画
- o9とリンクしたグローバルProject 44追跡プラットフォーム
- SC上の問題への即時対応と、効率的な中長期生産計画の実現

## Integrated Business Process

- 包括的な事業計画プロセス
- 需給調整における中長期的な意思決定
- 新製品立ち上げを最大限に支援するためのポートフォリオの見直し
- 事業とSCMによる協業体制

## データとKPIに基づく分析

- 全地域のパフォーマンス測定を行う、DnAベースのKPIダッシュボードの提供
- 連携されたKPI定義
- 顧客満足度、配送の信頼性、物流コスト、在庫水準、SCMコストのKPI
- 基盤となるマスターデータ管理の強化

## 人材の評価と育成

- SCMグローバルチームの能力評価、共通して持つべき知識向上のためのSCMアカデミーの立ち上げ
- キャリアパス、国をまたいだローテーション、新しい役割、チェンジ・マネジメントの開発と立ち上げ

# 貿易手続きデジタル化に向けた取組 現状と課題（輸出）

輸入者、税関及び通関業者とのEDI連携で主要業務は自動化できているものの、社外とのコミュニケーションはEメール主体



受注

梱包

ブッキング

輸出手配

輸出申告

Shipping Advice

売掛金  
処理

ツール



概要

・自社の受注出荷システムにてオーダーを受領

・自動倉庫から一部オートでピッキング、梱包人が作業

・FWDへメールで依頼

・自社輸出システムでIV,PLを作成し、メールでFWDへ手配依頼

・AWBはメールで受領、EDはNACCSと連携しているのでシステムで受領

・IV,PL,AWBをメールで現地へ送付

・会計システムで処理

課題

都度メールを作成しブッキングしている

AWBを自社輸出管理システムに保管する工数が発生する

輸出毎にメールで現地へ送付する

# 貿易手続きデジタル化に向けた取組 現状と課題（輸入）

自社開発のミニPF上で手配ができているものの、貿易サービス事業者や行政との連携は不完全



発注～  
海外からの発送

貨物到着

輸入申告  
内容確認

輸入確認  
申請

通関・配達  
依頼

貨物受領

買掛金  
処理

ツール



概要

・システム/メールでサプライヤーへオーダー

・FWDがOLYの輸入管理システムへAWB,IVデータを格納

・OLY輸入管理システムで社内承認

・必要に応じて厚生局へ電子、または郵送で申請

・輸入管理システム上で依頼書を作成、追加の書類を格納して通関・配達依頼

・発注、荷受それぞれのシステムで在庫計上

・在庫計上済データと請求書PDFを付け合わせ、支払処理

課題

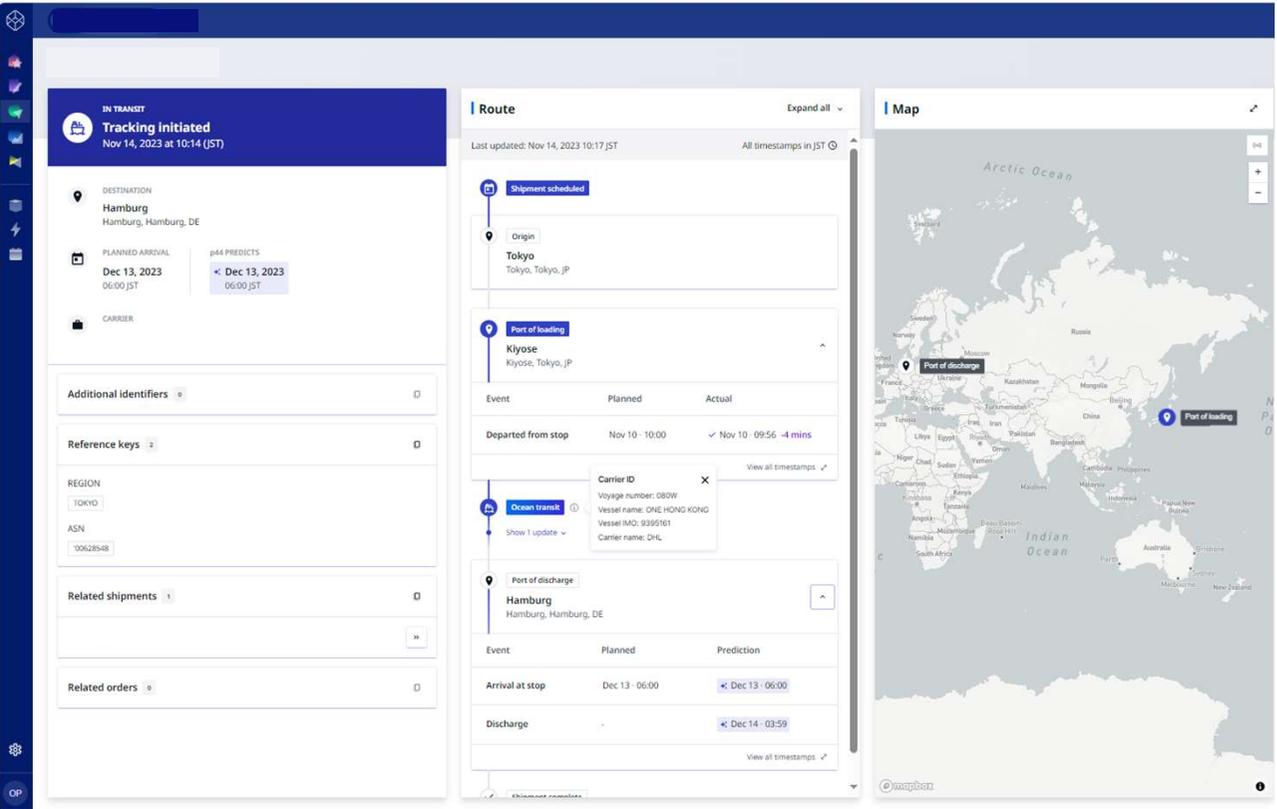
入港日遅延、貨物スプリット情報がタイムリーに入手できない

FWDによってはOLYシステムの利用に難色。

申請内容によって郵送でしか厚生局に受け付けてもらえない

紙原本を使って関税・消費税を納税しているため、マルチペイメント等を活用できていない

# 貿易手続きデジタル化に向けた取組 現状 (物流可視化)



## project44

- 荷主とロジスティクス・プロバイダーをつなぐ物流可視化プラットフォーム
- APIを使って輸送情報をリアルタイムで取得し、クラウド上でシステムやアプリケーションを統合するサービス
- あらゆる輸送形態で貨物と注文を検索し必要な情報を素早く見つける

## 効果

- サプライチェーン全体を通して国際輸送貨物、国内輸送貨物とそのステータスをグローバルで可視化
- 輸送制約の検出
- より正確な出荷情報を顧客に提供

## 課題解決のために今後必要なこと



### 自社で 対応していくこと

- ✓ トランスフォーメーションプログラム推進
- ✓ 経営層を巻き込み関係部門へデジタル化のメリットを浸透
  - 財務部門に対する関税納付のマルチペイメントネットワーク導入等
- ✓ 貿易業務社員のデジタル化に対する能力開発強化



### 政府に お願いしたいこと

- ✓ 荷主と貿易サービス提供事業者のPF導入支援
  - 貿易PFの認知度向上のためのPR推進
  - 貿易関連サービス提供事業者に対するPF参画への補助金等
- ✓ 他法令関連の電子申請の利便性向上とPF化推進
  - 医療機器輸入時における厚生局薬監申請等



### 貿易PFに 期待すること

- ✓ 提供サービスの拡充とサービス提供事業者の拡大
  - 外資系FWDの参入促進等
  - ✓ 機能性の充実
  - 税関事後調査書類作成支援等

**OLYMPUS**

A thick yellow horizontal line that tapers at both ends, positioned directly below the word "OLYMPUS".